



一人ひとりを回り、声をかけて長寿を祝う國島市長

一之宮町敬老会が9月11日に一之宮町公民館を会場に開催されました。は昨年より17人増えて413人で、

祝賀会・宴会で長寿を祝う

一之宮まち協だより

第17号

平成27年10月1日

一之宮町
まちづくり協議会
広報委員会

高山市一之宮町3087
電話 53-2424

うち敬老会には113人が出席されました。

敬老会は祝賀会と祝宴の2部構成で行われ、午前11時から始まった祝賀会では来賓として出席した國島芳明高山市長が「長寿社会と言われていくが健康寿命に力を入れてほしい。みなさんもそれを目指してほしい」とお祝いの言葉を述べました。子ども達からのお祝いステージでは、宮小6年生が力強いソーラン踊りを、続いて保育園年長児が男女別に愛らしい遊戯を披露、最後に宮中2年生が「ハナミズキ」など2曲で息の合ったハーモニーを聞かせて出席者を祝福しました。参加者は「感動して涙が止まらなかった」など喜んでいました。

2部の祝賀会は武川尚一之宮支所長の乾杯に始まり、千翠あやめさんの舞踊が宴を盛り上げました。会場では酒を酌み交わしたり、料理を食べながら懐かしげに談笑する姿があちこちで見られ、会場はなごやかな雰囲気包まれていました。敬老会は、まちづくり協議会役員や各長寿会長らで構成する実行委員会が企画し、対象者の調査や出欠の確認は班長が受持ち、町内会長がスタッフに加わるなど、一之宮町全体として取り組まれました。

宮景

秋の収穫作業

9月は雨が続いて田んぼの状態が心配でしたが、先月の27日の日曜日からは本格的な稲刈り作業が始まりました。

この日は前日に続いての晴天とあって、バインダーで刈り取った後、家族総出で稲架(はさ)がけしている農家のほか、あちこちの田では稼働しているコンバインを5~6台見かけました。

一之宮の田んぼというと、宮峠を車で下ると分かる通り碁盤状に整然と並んでいます。しかし半世紀ほど前まではそうではなかったようです。

戦前までの一之宮の田んぼは、宮川の氾濫で砂礫層が下に蓄積されて、水持ちの悪い田んぼ、いわゆる「秋落ち田」で収量が少なく苦労されたようです。

客土によって田んぼを直すことは戦中から行われていたようですが、国の事業としての耕土培養事業が戦後始まり、昭和31年に終了。続いて土地改良事業が昭和39年から42年にかけて行われ、1区画が10アールや20アールに統一

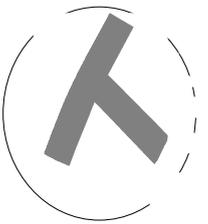
され、同時に農業用水路が整備され、一之宮の田は現在のように見違えるようになりました。

現在、水田面積は84ヘクタールほどで、ほとんどでコシヒカリが栽培されています。因みに一之宮のコメは1等米の割合が97%以上と非常に高いのが特徴。これはヘリコプターによる一斉防除のお蔭です。

さて、今年の稲刈り、順調にいけば今月上旬までにほぼ終わっていることでしょう。



コンバインでの収穫作業(9月27日)



幅広い趣味の文化人

無類の映画好き

岩野 正平 さん

(本通中)

今月の「まちよな人」は、日頃より児童生徒の登校を見守っていたらいて「子ども見守り隊」の本通り地区の岩野正平さん(81歳)です。

10年ほど前に、水口進さんや川上允さん、野口益次郎さん、田中サキさん等々の方々と、子どもたちの安全を願ってスクールサポーターを志願して始められたそうです。

岩野さんはJAの横に立ち見守ってみえますが、「子どもたちが元気に挨拶してくれるのが嬉しい。JAに来てくれる業者も、宮の子はよく挨拶をしてくれると言っている」と話していただきました。

この場所は、通学・通勤時間帯は、駅に向かう自転車や自動車通行量も多く危険です。取材しながら、運転者も、歩行者もお互い気をつけなければと思っていました。



300本はあるという映画のDVDについて語る岩野さん

この活動は、毎日早朝からであり、本当に頭が下がります。無理なく、未永く活動をして欲しいと願っています。

岩野さんはJAを定年退職後、県立高等技能専門学校で木工技術を習得したり、水無神社の事務等を務めたりされました。趣味も多く、木彫、家庭菜園、それに、映画の名作をDVDに録画して自作のカバーケースに収めたりと、邦画300以上の作品を収蔵してみえます。

作品は戦後から昭和40年代のものが大半ですが、昭和10年代、戦中のものもあるそうです。小津安二郎作品は全作収集。名作の基準はキネマ旬報のベスト10から収録しているという念の入れようです。映画は子どもの頃より好きで、高校の修学旅行の時、松竹大船撮影所を見学したとき感激し、自称「おたく」になったそうです。高山にも映画館が3つあってよく見に行つたこと、また宮にも「一之宮座」という「獅子芝居」小屋が戦後頃まであったと懐かしそつに話していただきました。岩野さんは、取材に対して、略歴、趣味、そして気質など、パソコンで作成しプリントして下さいました。気質には「何かしていないと気が済まない性分」とありました。まさに「まちよな」人だと感じ入りました。

(広報委員 山腰 進)



山を想う

大森 治良 さん(寺元)



これは村有林はもちろん、民有林でも同じであります。せっかく植えた山も放置され、荒れてきたのです。

人工林は人の手を加えないと健全な林になりません。第一に間伐です。当初1ヘクタール当たり約3千本の木を植栽しますが、徐々に間伐を繰り返して、最終的には5百~6百本くらいにします。百年と、気の長い月日が必要となります。

材価が安いとあって、放置するわけにはいきません。高山市の92%、一之宮町においては96%が山林です。この広大な山林を健全に育てる事が、今を生きる我々の使命ではないかと思えます。豊かな水を育み、きれいな空気を作り、災害から守り、人々の心を癒し、生きる者すべての糧であります。

昨年12月、大雪が降りました。そして多くの木が倒れ、多大な被害を受けました。私は、これは山を大切にしていなかった報い、これから大切にしっかり管理せよと言う警告であると思うのです。



山の手入れは面白いと語る大森さん

町の中央に立ち、四方を見回して見て下さい。ほとんどが針葉樹におおわれています。赤松、姫子松は天然林、杉は植林木です。また、やかた文左から上流の村有林、国有林においても針葉樹がほとんどであり、これから楽しみな紅葉はあまり見る事が出来ません。

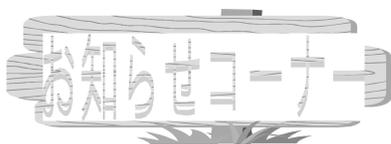
一方、スキー場からダナ平林道を進み、ユズリ八、蔵柱岩岳の上部には美しい広葉樹が見え、町の大切な水源の林であり大切にしたいものです。

戦後、荒れ果てた山を再生すべく、拡大造林を進めました。外材にいつまでも頼ってられない、いずれ国産材の時代が必ず来ると全国一斉に植林事業が始まりました。

その当時木材は村の大切な財源であり、さまざまな事業に使われ、村の発展に役立ってきました。昭和56年に豪雪があり、植えて間もない多くの木が倒れました。当時は村民総出で木起こしを行うなど、山に対して強い思い入れがありました。

しかし、外材は関税をかけない施策がとられ、どんどん安い輸入材が入ってきました。これが山をだめにした一つの要因でもあると感じます。

木材価格の低迷が続き、山に頼れなくなってきました。



第39回全国育樹祭記念行事

「2015森林・林業・環境機械展示実演会」のご案内とお願い

開催日時：10月11日(日)9:00~16:00
12日(月・祝)9:00~15:00

会場：モンデウス飛騨位山スノーパーク

国内最大級の林業機械の展示実演会で、65団体が約500台の林業機会を展示します。

おもてなし行事

- ・飛騨牛など地元特産品を3割引きで販売します。
- ・ツリークライミングや巨樹・巨木を訪ねる「源流の森ツアー」などの木と触れ合う事業もあります。

機械の搬入・搬出及び期間中の混雑に関するお願い

機械の搬入(10月9~10日)、搬出(12日16時~)時には、早朝・夜間を含め、たくさんの大型車両が国道・県道を通りますのでご理解と十分注意されるようお願いいたします。

また、駐車場が支所とその周辺及び水無神社に設けられ、シャトルバスが運行されます。スタッフが配置されますが、地域のみなさまにはご迷惑をおかけします。よろしくお願ひします。

お気づきの点等ありましたら支所まで(53-2211)

第5回「わが町の文化遺産巡り」のご案内

今年は宮を出て、高山陣屋で大原騒動などについて学びます。

日時：10月11日

集合場所：水無神社絵馬殿

集合時間：午前8時

申込と締切：10月2日(金)までに公民館へ

今年は定期バスを利用して高山陣屋方面に行きます。

一之宮町文化祭作品・出演者募集

今年の文化祭が下記の通り開催されます。それに伴い、次の

通り展示作品と芸能発表の出演者を募集します。

文化祭日時：11月1日(日)~3日(火・文化の日)

作品・出演者募集：10月8日(木)~10日(土)午前9時~午後6時の間に参加費(1人300円)を添えて申込み
詳細と申込書は1日配付のチラシをご覧ください。

健康スポーツフェスティバルのお知らせ

まち協主催の健康行事で、グラウンドゴルフとウォーキングを楽しみます。みなさんの参加をお待ちしています。

日時：10月24日(土)午前9時~

場所：町内ウォーキングコース

グラウンドゴルフは宮小学校グラウンド

詳しくは毎月15日配付予定のチラシでお知らせします。

後期教養講座

「みんなで歌おう昭和歌謡教室」受講者募集

昨年に続いて、ギターの中島ヨシハル氏を講師に、下記の通り開催します。歌の好きな方なら上手下手に関係なく大歓迎!

日時：10月29日、11月12日、19日、12月3日 各木曜日 全4回

時間は午前10時~11時30分

会場：一之宮公民館

受講料は無料、歌集は貸出します。

詳しくは1日配付のチラシをご覧ください。



一之宮分館 ブックスタート絵本の交換について

1歳6ヶ月児対象のブックスタート絵本の引き換えとおはなし会を行います。本の引き換えには、高山市から配付された「引換券」と「母子手帳」が必要です。

日時：10月17日(土)午前10時30分~11時30分

場所：高山市図書館 一之宮分館

図書館だより

秋の夜長に読書はいかがですか?
涼しい秋の夜、虫の音を聞きながら読書を楽しむのはいかがでしょうか。

今まで読み切れなかつた小説など、この機会に読んでみませんか?



お知らせ

一之宮分館、雑誌リサイクル

保存期間を過ぎた雑誌を無料提供します

期間：11月1日(日)~3日(火)

時間など、くわしくは館内のポスターをご覧ください。

今月の特集

シンプルなお暮らし

シンプルなのに暮らしを豊かにする工夫、物を持たずにセンスよく暮らす生活のヒントを紹介します。

おはなし会のご案内

今月は1歳6ヶ月児対象のブックスタートおはなし会です。

10月17日(土) 午前10時30分

11時30分

くわしくは館内のポスターをご覧ください。

公民館から

展示コーナー

日本画「游の会」作品展 (10月末まで)

10月の公民館定休日

13日(火) 26日(月)

10月の位山交流館定休日

5日(月) 13日(火) 19日(月)

26日(月)

一之宮町の人口情勢

世帯数		8 1 2 戸		
年齢	男性	女性	合計	
0~14歳	190	158	348	
15~64歳	700	734	1,434	
65歳以上	341	461	802	
合計	1,231	1,353	2,584	

9月1日現在・単位：人 3

編集後記

夏が過ぎ9月に入ると、茨城、栃木、福島県などでは大洪水、竜巻や地震の多発、阿蘇山の噴火など自然災害の驚異を感じるところです。一之宮町においても、油断することなく備えをしていく必要があると改めて感じます。(山腰委員 長)

つばやき

9月に入り朝晩涼しくなってくるにつれ、夏の暑さとは思いつくなくなり、寒いシーズンを思い出すこの頃となりました。暑くて勉強に集中できないうつらさ、外での仕事も汗だくで大夏と言っていた夏、寒くて布団から出られない冬、雪まじりにほねをおる冬……。そう考えると、今の時期は暑すぎず、寒すぎず、雪も無い、何かやるには絶好の時ではないだろうか? スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、ダイエツトの秋等々何でもよいちょうどいい今の時期、何か新しい事に挑戦してみたい、ポストマン

宮小中が合同運動会開催

宮小中学校合同運動会が9月5日、久しぶりの雨間をぬって爽やかな秋風の中で開催されました。保護者や祖父母、地域の人たちが参観する中、児童生徒は一生懸命競技や演技をしていました。

2学期が始まって2週間ほどでしたが、小学校1年生も良く覚え、楽しそうにしっかりと演技をしていました。

中学生の応援も夏休みにマスコットを描くなど、練習の成果や工夫が見られ、さすがと感激しました。児童生徒も参観者にも心に残る思い出になったことでしょう。

(広報委員：山腰)



うまい棒を渡しでリレーを盛り上げ

ワイン講座で幅広い教養

まち協後期生涯学習講座の「ワイン講座」が9月18日に一之宮公民館で開催されました。

講師は酒店経営者の坂本雄一氏で、今回は日頃あまり接する機会のないオーストリアの発砲・白及び赤ワインの中から、同氏が選んだ数種類のワインを試飲しました。



おいしいワインと楽しい話で盛況

参加した16人は、各ワインの産地・特徴などの説明を受け、パン・チーズをつまみながら楽しく飲んでいました。

講座では、オーストリアを含めた世界のワインの生産状況や葡萄畑の土壌が味わいに大きく影響することなどの話もありました。

講師の含蓄ある説明に、ワインの知識だけでなく幅広い教養を深める良い機会にもなったようです。

(広報委員：伊藤)

文化祭実行委員会が発足

今年11月1日から始まる一之宮町の文化祭事業に町全体で取り組もうと、一之宮町文化祭実行委員会が組織され企画運営にあたることになりました。文化祭に対して町民参加意識が薄くなってきている中、企画段階から様々な人が関与して盛り上げようと実行委員会形式で行うことになったもの。

実行委員はまち協の役員のほかに、商工会や農業団体などの連携組織、保小中の校長・園長やPTA会長など、また宮中の生徒会役員も含まれています。



2グループに分かれて検討する委員

今年度の文化祭は、展示・芸能発表に加えて、収穫祭や各種パザール、「水無の舞」や「闘鶏菜」の伝統体験発表、それに宮城県女川町のサンマの提供など多彩な内容で、宮中学生がボランティアとして運営にかかわることになっています。

保育園が50周年運動会

宮保育園運動会が9月26日に保育園で行われました。朝方までの



50周年を祝って運動会を開始

小雨も、園児の想いが天に通じてか？天気は回復し、会場は多くの保護者家族などでにぎわいました。競技は、綱引や玉入れ、リレーのほか、親子で参加の競技や遊戯など、園児も家族も笑顔いっぱい運動会になりました。

今年は宮保育園が創立50周年を迎えた記念すべき年にあたり、「祝50年」の横断幕も披露され、会場は祝福の拍手に包まれました。

(広報委員：野添)

日頃からの備えを万全に 高山市総合防災訓練に参加

高山市総合防災訓練が9月6日、一之宮支所を訓練会場に、本通町内会住民が参加して行われました。訓練は、最大震度7強の大規模地震を想定して実施されました。

一之宮支所に災害対策本部を設置し、被害状況を把握の上、負傷者を担架や車イスで救助するなど、本番さながらの訓練が行われました。駐車場では、女性の方が中心となり、味ご飯と安倍川餅などの炊き出しを行い、参加者全員に配

布しました。庁舎内では、応急手当等を行い、2階会議室では災害図上訓練が行われました。

近年は想像ができない災害が各所で発生しています。私たちの身にも、いつ何が起るかわかりません。災害が起きたときは、慌てず情報を正しく確認、伝達し、地域の方々が共に助け合い、自ら何ができるかを考えて対応していくことが必要だと思えました。そのためにも、日頃から備えを万全に整え、地域の方々と繋がりを持つことが大切だと思います。

(広報委員 牛丸 朋子)



負傷者の搬送の仕方も練習

地域安全パトが全国表彰



表彰状を手にする向良廣代表

一之宮町地域安全パトロールが、日ごろの地域安全活動が評価され、9月24日に東京の明治記念館で開催された平成27年全国地域安全運動中央大会で表彰されました。

この大会は全国防犯協会連合会と警察庁が主催したもので、全国から38団体の防犯功労団体が表彰され、岐阜県からは同地域安全パトが受賞したものです。式には向